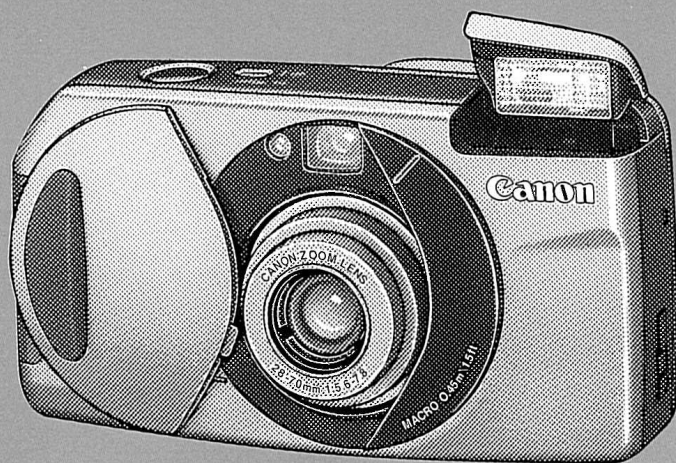


Canon

Autoboy *Luna XL*



はじめに

基本編

活用編

応用編

資料編



使用説明書

目次

● 本書の構成

この使用説明書は、基本編、活用編、応用編、資料編と段階的に分類してあります。初めてカメラをお使いになる方は始めから順にお読みください。

■ 本文中の以下のマークについて



：故障などカメラに不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。



：カメラを操作するうえで知っておいていただきたい事項が書かれています。



：カメラ操作上あるいは撮影時のヒントが書かれています。

はじめに

目次	2
安全上のご注意	4
操作早わかり	7
各部の名称	8

基本編

レンズカバーを開きます（メインスイッチオン） ..	10
カメラを構えます	11
写したいものを大きく～小さくします	12
シャッターボタンを押してみます	13
緑ランプについて	13
ファインダーをのぞいてみます	14
フィルムを入れます	16
AUTO （全自動撮影）にセットします	18
フィルムを取り出します	20
🔋 電池の交換について	21

活用編

ベストショットダイアルを使って撮る	22
 動いているものを撮る	23
 アクションマーク 夜景をバックに人物を撮る	24
 夜景マーク 身近なものを大きく撮る	25
 クローズアップマーク 人物をアップで撮る	26
 ポートレートマーク 中央部でピントを合わせて撮る	27
SPOT スポットマーク	

はじめに

応用編

フォーカスロック撮影	28
 パノラマモード撮影	29
パノラマプリントについて	30
 セルフタイマー撮影	31
 リモコンの使い方	32
リモコンの電池交換	33
DATE 日付／時刻の写し込み	34
日付／時刻のセット	35
CAPTION メッセージの写し込み	36
 ストロボと  赤目緩和モードの変更	38
 ストロボONモード	39
 ストロボOFFモード	40
 /  スローシンクロモード	41
 赤目緩和機能について	42

基本編

活用編

応用編

資料編

Q&A	43
こんなときは	44
主な仕様	46

資料編

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

その他の絵表示の例

行為を禁止する記号

⊘ 禁止 ⊘ 接触禁止 ⊘ 分解禁止

⊘ 記号は、行為を禁止する内容を告げるものです。

⊘ の中に具体的な禁止内容が書かれています。

⚠ 警告（電池について）

⊘ このカメラで指定されていない電池は、使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

⊘ 電池を火の中に入れたり、分解、加熱、ショートは絶対しないでください。また、水の中に入れたりしないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

⊘ リチウム電池など充電できない電池を無理に充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

⚠ 電池を取り外した場合は、お子様の手の届かないところへ置いてください。万一、飲み込んだ場合、電池が壊れて電池の液で胃、腸等が冒される恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。

⚠ 警告（電池について）

- ⚠ 万一、カメラ（電池）が熱くなる、煙がでる、焦げ臭い等の異常状態が起こった場合、そのまま使用すると火災、火傷の原因になります。火傷には、十分注意しながら速やかに電池を取り出し、お買い上げになった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。
- ⚠ 電池を廃棄する場合は、接点部にテープを貼るなどして絶縁してください。廃却の際、他の金属と混じると、発火、破裂の原因となります。
- ⚠ 電池の「+」と「-」の接点を正しく入れてください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

⚠ 警告（ストロボについて）

- ⊘ 車の運転者等にむけてストロボを発光しないでください。事故の原因となります。
- ⊘ ストロボを人の目に近づけて発光しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
- ⊘ ストロボの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。また、連続発光後、ストロボ部に触らないでください。火傷の原因となります。

⚠ 警告（その他取り扱いについて）

- ⊘ 自分でカメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する原因となることがあります。内部の点検、調整、修理はお買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。
- ⊘ 落下等により、ストロボ部分が破損した際は、内部には触れないでください。さらに、内部が露出した際は、絶対に手を触れないでください。高電圧がかかり感電する原因となります。速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。

⚠ 警告（その他取り扱いについて）

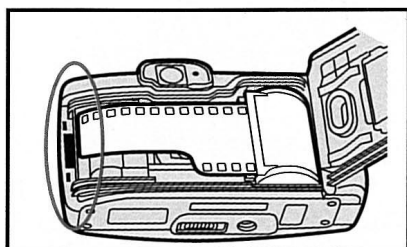
- ⊘ カメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。
- ⚠ カメラは、乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。火災、感電の原因となります。
- ⊘ 自動車などの運転中に運転者は、カメラを絶対に操作しないでください。交通事故の原因となります。

⚠ 注意（その他取り扱いについて）

- ⊘ カメラ（特に金属製のもの）を高温状態の車の中に放置したり、熱いものの近くに置いたりしないでください。カメラ自体が高温になり、触ると火傷の原因となることがあります。
- ⊘ カメラ（特に金属製のもの）を低温状態中に放置したりしないでください。カメラ自体が低温になり、触るとけがの原因となることがあります。
- ⚠ カメラをストラップで下げているときは、他の物に引っ掛かったりしないように注意してください。けがをする原因となることがあります。
- ⊘ カメラを三脚に取り付けたまま移動しないでください。つけたまま移動するとつまずいたり、ぶついたりしてけがや事故の原因となることがあります。また、三脚はカメラ・レンズに対して十分に強度のあるものをご使用ください。
- ⊘ 万一、カメラごと水に落としたり、内部に水が入った場合は、電池を抜いて、速やかに、お買い上げになった販売店、またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

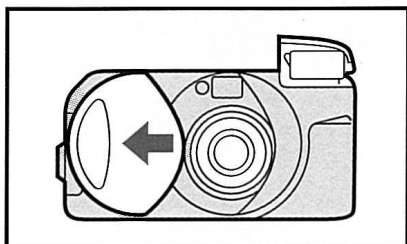
操作早わかり

●本文中の(→xxページ)は参照ページを示しています。



1

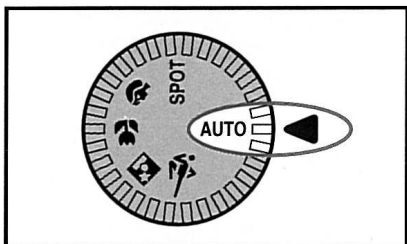
フィルムを入れ背ぶたを閉じます(→16ページ)。



2

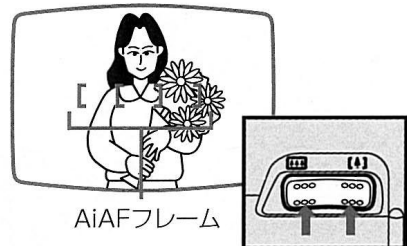
レンズカバーを開きます
(メインスイッチオン)
(→10ページ)。

●レンズとストロボがセットされます。



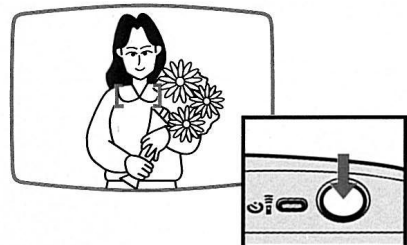
3

ベストショットダイヤル(ダイヤル)を**AUTO**に合わせます(→18ページ)。



4

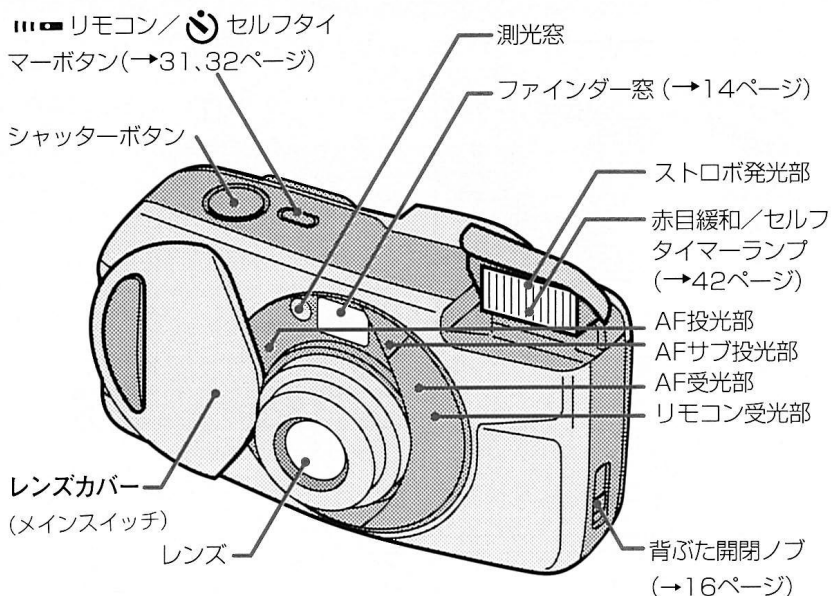
ファインダーをのぞきズームレバーを押し(→12ページ)、写すものをAiAFフレームの中に入れて構図を決めます(→14ページ)。



5

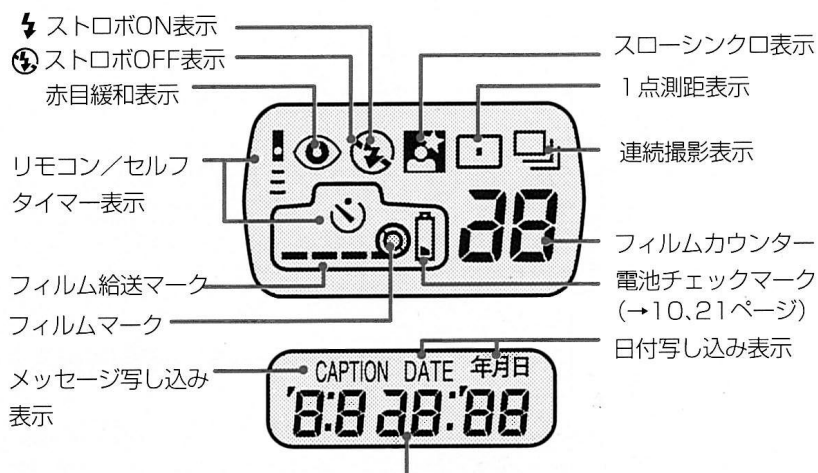
シャッターボタンを軽く押してピントを合わせ(→14ページ)、合焦点の表示と緑ランプの点灯を確かめ、そのままシャッターボタンを押します。

各部の名称



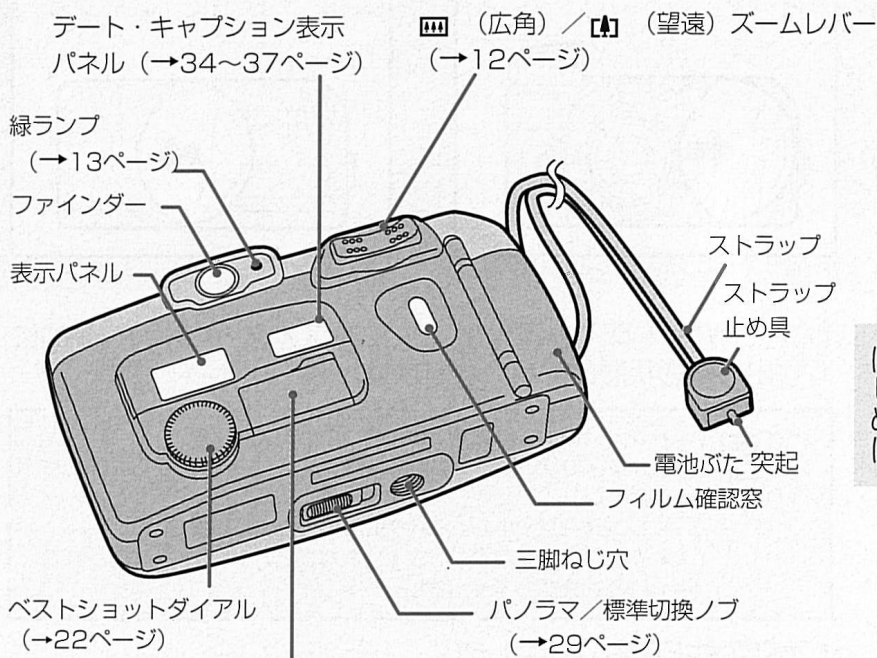
表示パネル

下の図は表示パネルに表示されるすべての情報を表示したのですが、通常は必要な情報だけが表示されます。

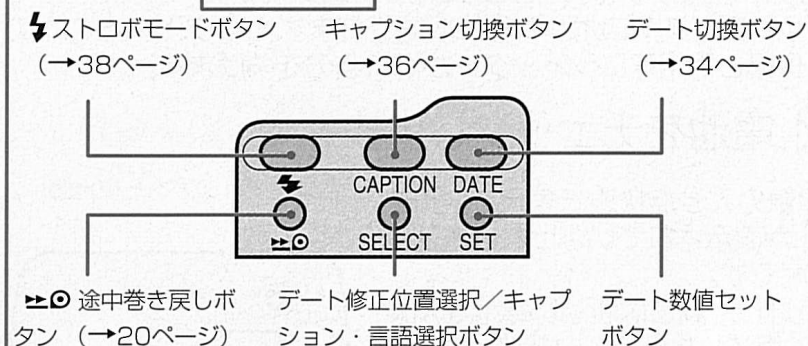


デート・キャプション表示パネル

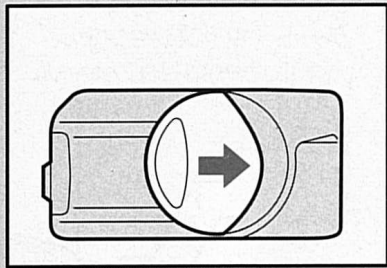
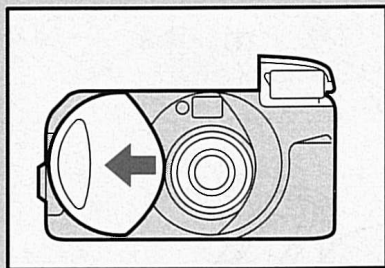
各部の名称



スイッチカバー



レンズカバーを開きます (メインスイッチオン)



レンズカバーを開くと電源が入り、レンズとストロボが自動的にくり出し撮影状態にセットされます。



- レンズははじめ広角28mmにセットされます。
- レンズカバーはカチッと音がするまでスライドさせて開いてください。
- レンズカバーはゴムの中央に指をかけて開いてください。
- レンズとストロボがセットされないときは、電池が装填されているか確認してください。

[電源を切るときは]

カチッと音がするまでレンズカバーを閉じます。

- レンズとストロボが本体に収納されます。レンズやストロボの保護と不用意にシャッターが切れるのを防げます。

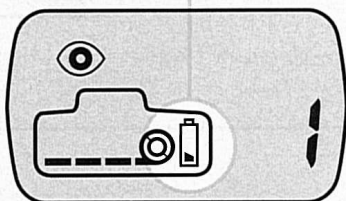
電池をチェックします

電源の入った状態で表示パネルに  が表示されていなければ電池はOKです。

点灯した場合は新しい電池を用意し、点滅したら新しい電池と交換してください。

(→21ページ「電池の交換」)

電池チェックマークの位置



- 撮影前には必ず電池をチェックしてください。
- ご旅行にお出かけのときや、写真をたくさん撮られるときは、万一の時に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によって電池の入手が困難ことがあります。

カメラを構えます



シャープな写真を撮るために、カメラが動かないようにしっかり構えて撮影します。

- 1 両手でカメラを持ちます。
- 2 ひじを体に軽くつけます。
- 3 カメラを額に付けるようにして、ファインダーをのぞきます。



- カメラを構えるときは、レンズ、AF投光部、AF受光窓、AE受光窓、ストロボなどに髪や指がかからないように注意してください。



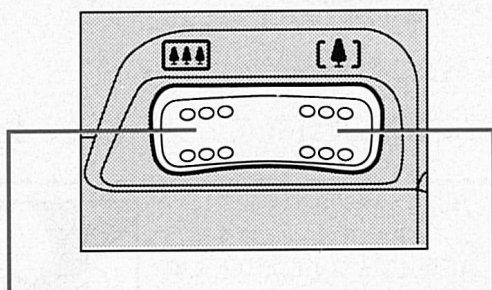
- ストロボで連続撮影を行なうと、電池の能力が一時的に低下し、正しい表示が出ない時があります。しばらく待ってから電源を入れ直してください。

写したいものを大きく～小さくします



28mm ← = = = = ⇒ 70mm

ズームレバーを操作して、ファインダー内の写したいものの大きさを自由に変えることができます。



(広角側)

ズームレバーを
押す

レンズは28mmまでの
広角になります。
広角側ではより広い範囲
を写すことができます。
風景の撮影や人物の集合
写真を撮影するときなど
に使用します。



(望遠側)

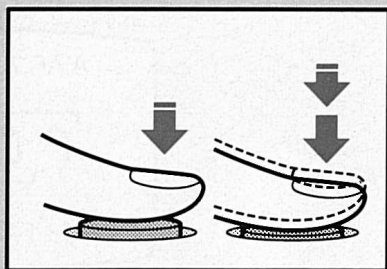
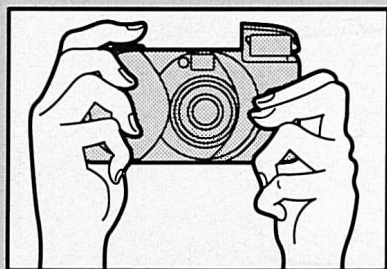
ズームレバーを
押す

レンズは70mmまでの
望遠になります。
望遠側では写したいもの
をより大きく写すことが
できます。人物のポート
レート撮影などに使用し
ます。



- ズームレンズ本体(鏡筒)は繰り出されたまま約4分間放置されると、レンズ保護のために自動的に収納され、広角(28mm)にセットされます。

シャッターボタンを押してみます



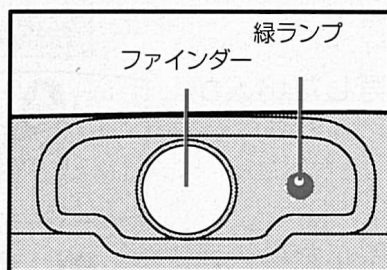
シャッターボタンは二段階になっています。軽く押すとピントが合い、さらに押すとシャッターが切れます。撮影後、フィルムは自動的に巻き上げられます。



- 指をシャッターボタンから離れた状態から一気に押したり、あるいは指を立てて押すことは手ぶれの原因になります。シャッターボタンはゆっくり静かに押してください。

緑ランプについて

シャッターボタンを軽く押したときランプの点灯や点滅で下のように表示します。



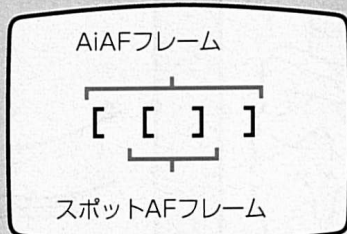
- | | |
|-------------|--------------------|
| 点灯 | : ピント合わせ完了(撮影準備完了) |
| 遅い点滅(4回/秒) | : 近距離警告 |
| 速い点滅(16回/秒) | : 手ぶれ警告(ストロボOFF時) |
| | 赤目緩和ランプ点灯(初期約1秒間) |



- 近距離警告が出たら、写したいものから離れてシャッターボタンを押し直してください。
- 手ぶれ警告が出たら、三脚などの使用をおすすめします。
- 赤目緩和ランプ点灯表示中の約1秒間はシャッターが切れません。

ファインダーをのぞいてみます

AiAFフレーム



AFフレームについて

写したいものにこのフレームを合わせてピントを合わせます。

AiAFフレーム : AUTO、モード時に表示されます。

スポットAFフレーム : , , , SPOT モード時に表示されます。

合焦点(ピントの合った所)をファインダー上で確認できます。
(シャッターボタンを軽く押したとき)

合焦点の表示例

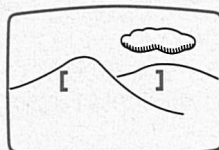
写したい人が
一人のとき



写したい人が
二人のとき



グループ写真・
風景など





①クローズアップフレーム



②パノラマモード時

撮影範囲について

撮影状況に合わせて写る範囲を黒いマスクで表示します。

- ①クローズアップフレーム : 1m以内で撮影時(→25ページ)。
 ②パノラマフレーム : パノラマ撮影時(→29ページ)。



デュアル*AiAF機能について

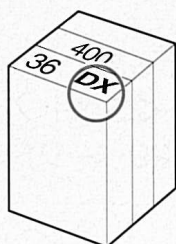
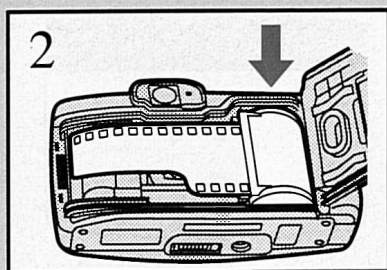
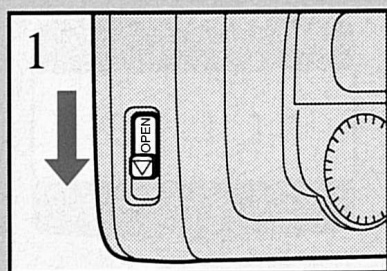
- ① 広角から望遠までどの画角でも対応
- ② 幅広いAFフレーム
- ③ ピンボケ、中抜けのない賢いAi(人工知能搭載)

具体的には

- 中抜けしない
- ガラス越しの撮影でもピント合わせOK(→18ページ)
- 風景など無限遠のピントもOK

* Ai=Artificial intelligence: 人工知能、AF=オートフォーカス

フィルムを入れます

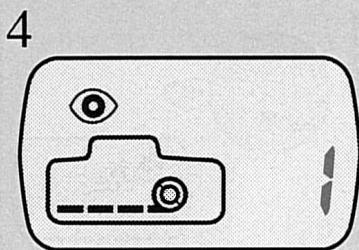
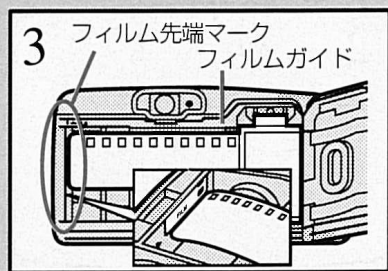


DXマークのついたフィルムをお使いください。カメラが自動的にフィルム感度を読み取ってセットします。

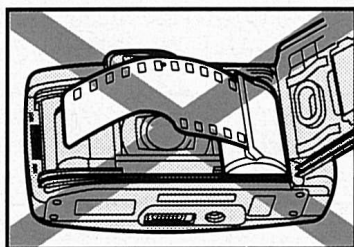
- 1 背ぶた開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背ぶたを開きます。
- 2 フィルムを図のような向きで、フィルム室に入れます。



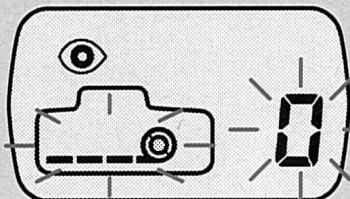
- フィルム感度ISO400をおすすめします。



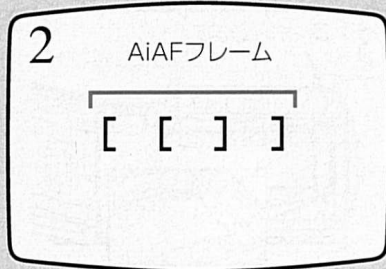
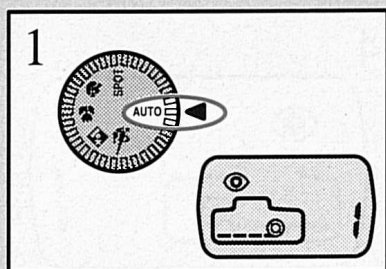
- 3 フィルム先端を、フィルム先端マークまで引き出します。フィルムガイドの間にフィルムが正しく位置していることを確認して背ぶたを閉じます。
- 4 レンズカバーを開いて電源を入れます。フィルムが正しくセットされると、フィルムカウンターに“1”が表示されます。



- フィルムカウンターの「0」と---(フィルム給送表示)が点滅するときはフィルムが正しく送られていません。もう一度入れ直してください。



AUTO (全自動撮影) にセットします



ダイヤルを**AUTO**にすると全自動撮影になります。

中抜けしにくいデュアルAiAF機能ですから、全ての焦点距離(28～70mm)で構図優先の撮影ができます。

1 ダialを**AUTO**に合わせます。

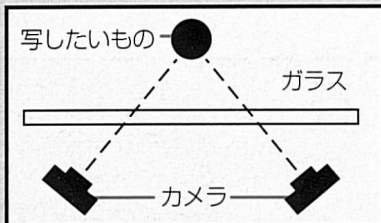
2 写したいものにカメラを向け、ファインダーをのぞきながらズームレバーを押して、大きさを決めます。



- 緑ランプが点滅(4回/秒)した場合は、写したいものまでの距離が近すぎてピントが合いません。点滅しない距離まで離れてください。



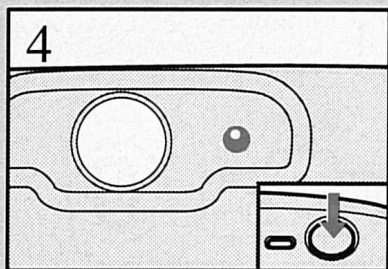
- ガラス越しのものを撮影する時は、図のようにカメラを、ガラスから離れた(20cm程度)斜めの位置から撮影してください。



ストロボの届く距離

フィルム感度	28 mm (広角)	70 mm (望遠)
ISO 100	0.6～3.3 m	0.6～2.4 m
ISO 400	0.6～6.6 m	0.6～4.7 m

(カラープリント用フィルム使用時)

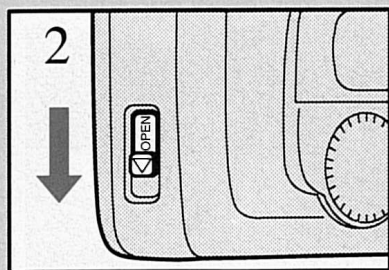
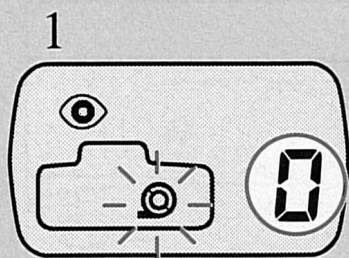


- 3 写したいものにAiAFフレームを合わせ、軽くシャッターボタンを押すとファインダーに合焦点(ピントが合ったところ)が表示されます。
 - 写したいものに合焦点表示されないときにはシャッターボタンから指を離しAiAFフレームの範囲で写す物の位置を変え、もう一度シャッターボタンを軽く押します。
- 4 緑ランプの点灯を確かめてそのままシャッターボタンから指をはなさず、静かに押してシャッターを切ります。
 - 暗いところや逆光のときはストロボが自動的に発光します。



-  マークが表示されているときはストロボ撮影時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。(→42ページ)
- 逆光のときや、写したいものに合焦点表示されないときは、写したいものを画面中央に入れて撮ることをおすすめします。

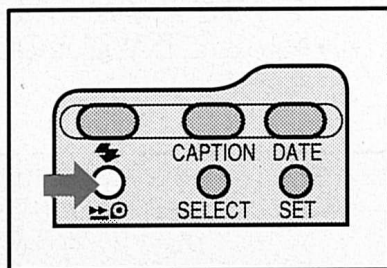
フィルムを取り出します



- 1 セットしたフィルムを撮り終わると自動的にフィルムを巻き戻します。巻き戻し中は、フィルムカウンターの数値が減っていきます。
- 2 フィルムカウンターが“0”になりフィルムマークが点滅したら、フィルムの巻き戻しが終了しています。背ぶた開放ノブを矢印の方向にスライドさせて背ぶたを開き、フィルムを取り出します。

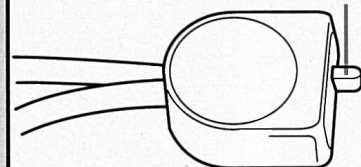
フィルムの途中巻き戻し

フィルムを最後まで撮り終える前に現像に出すときは、ストラップ止め具の突起を利用してフィルム途中巻き戻しボタンを押します。

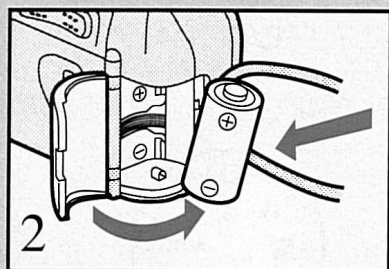
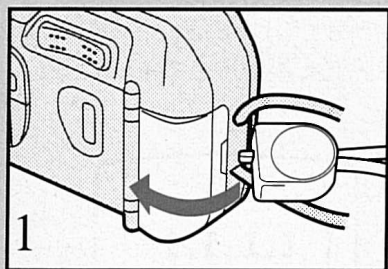


- ストラップ止め具の突起は、スイッチカバー内の小さなボタン等を押すときや電池ぶたを開けるときのなどに利用します。

ストラップ止め具の突起

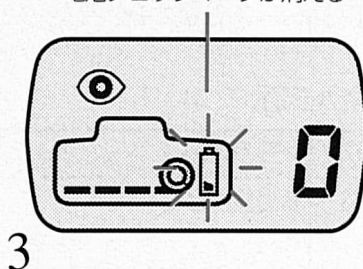


🔋 電池の交換について



表示パネルに🔋が点滅表示するときは、次の手順で電池を交換してください。 →10ページ

電池チェックマークが消える



- 1 ストラップ止め具の突起やコインなどをみぞの部分に差し込んで電池ぶたを開きます。
- 2 電池を取り出し新品の電池を+-の表示を正しく合わせ、図のような向きで入れます。
- 3 電池ぶたを「パチッ」と固定される音を確認めて閉じます。表示パネルの🔋が消えます。

[使用電池]

リチウム電池(CR123A 又はDL123A, 3V) 1個使用

[撮影可能本数]

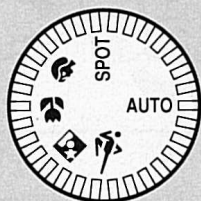
24枚撮りフィルム約13本(ストロボ50%使用時/当社試験条件による)



- 電池を交換すると、表示パネルの日付が「94 1 1」に変わります。日付と時刻を修正してください。(→35ページ)

ベストショットダイヤルを 使って撮る

写したいものに合わせてダイヤルを回すだけで自動的に最適なAFモード、給送モード、ストロボモードなどがセットされ、手軽に良い写真を撮ることができます。



ベストショットダイヤル



ベストショットインジケータ

パネル表示について

マーク	マーク名	機能の説明
	赤目緩和表示	ストロボ撮影時、約1秒間赤目緩和ランプが点灯後、シャッターが切れます。
	ストロボOFF表示	ストロボは発光しません。
	ストロボON表示	ストロボは発光します。
	スローシンクロ表示	ストロボが発光し、シャッタースピードは遅くなります。
	1点測距表示	中央部1点にピントが合います。
	連続撮影表示	シャッターボタンを押している間、連続撮影(最高1コマ/秒)します。

ベストショットインジケータについて

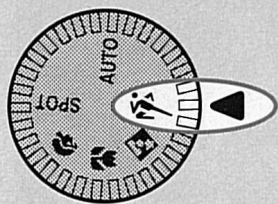
ダイヤルを**AUTO** (オート)以外の各マークに合わせるとファインダーにベストショットインジケータが表示されます。ファインダーにインジケータの表示があるときは、ダイヤルのマークを確かめて撮影してください。

- ダイヤルを**AUTO** (オート)に合わせるとインジケータは消えます。



アクションマーク

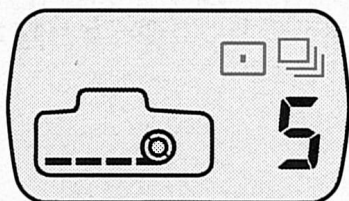
動いているものを撮る



動きのあるものにピントを合わせ続ける機能です。

動きのあるものに連続してピントを合わせるサーボオートフォーカスと、シャッターボタンを押し続けると連続撮影のできる連写機能がセットされます。

ダイヤルを  マークに合わせると、表示パネルに  と  が表示されます。



写したいものにファインダーのスポットAFフレームを合わせて追いつけてください。

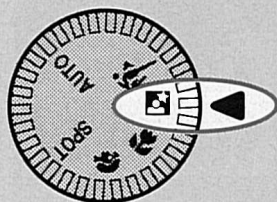


- 暗いときや逆光のときは、自動的にストロボが発光します。
- シャッターボタンを軽く押し続けると、約40秒間連続的にピントを合わせ続けます（緑ランプは点灯しません）。
- シャッターチャンス逃さないように赤目緩和機能はありません。



夜景マーク

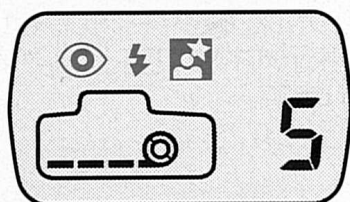
夜景をバックに人物を撮る



バックの夜景と人物を撮るのに効果的な機能です。

ストロボ発光機能と遅いシャッタースピードがセットされ、人物にはストロボがあたり、遅いシャッタースピードで背景の夜景もきれいに撮影することができます。

ダイヤルを  マークに合わせると表示パネルに 、 と  が表示されます。



-  マークが表示されているときはストロボ撮影時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。(→42ページ)
- このマークでは手振れ警告表示は出ませんが、必ずカメラをしっかりした台の上に置くか三脚をご使用ください。

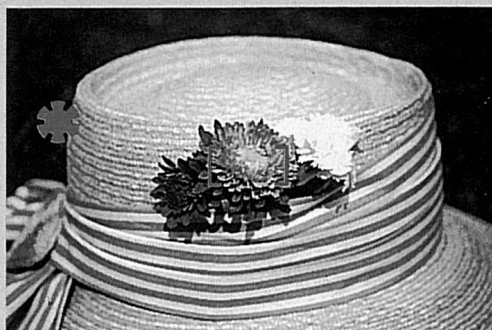
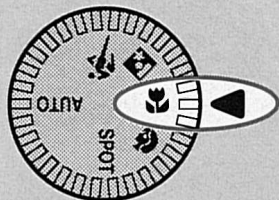
夜景だけを撮るときは

ストロボの発光を止めるとより効果的な写真が撮れます。詳しくは応用編をご覧ください。(→40ページ  ストロボOFFモード)



身近なものに近づいて撮る

クローズアップマーク

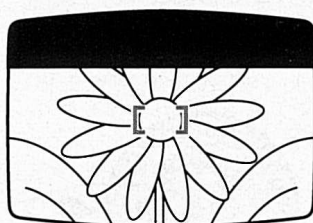


草花など身近なものに近づいて撮るのに効果的な機能です。

写したいものに0.45mまで近づいて撮影することができます。ダイヤルを  マークに合わせると、表示パネルに  が表示されます。

1m以内で撮影するときは、写したいものにファインダーのスポットAFフレームを合わせてシャッターボタンを軽く押し①、その指をはずさずにクローズアップフレーム内で構図を決めて撮影します②。

①



活用編

②



「実際に写る範囲」



- ∞から0.45mまで撮影できます。
- 暗いときや逆光のときは、ストロボが自動的に発光します。

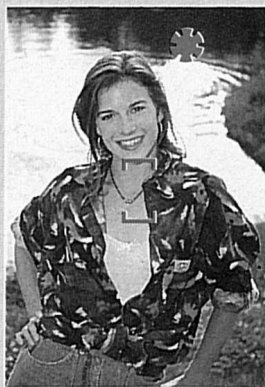


人物をアップで撮る

ポートレートマーク



バストショット



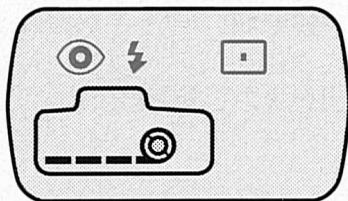
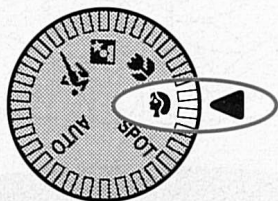
ウエストショット

人物をアップで撮るのに効果的な機能です。

人物の上半身が入るよう自動的にズーミングし、目に輝き(キャッチライト)を入れるために常にストロボが発光します。

ダイヤルを  マークに合わせると、表示パネルに 、 と  が表示されます。

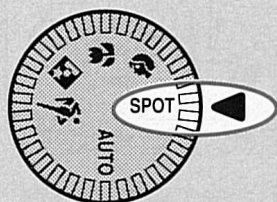
人物にスポットAFフレームを合わせて撮影してください。



- 写したいものから約1～2mの範囲で自動的にズーミングします。
- 自動的にズーミングした後、ズーム調整することもできます。
-  マークが表示されているときはストロボ撮影時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。(→42ページ)
- ポートレートマークでは、標準フルサイズ撮影を前提に撮影範囲を設定していますので、パノラマモードでの撮影はおすすめできません。

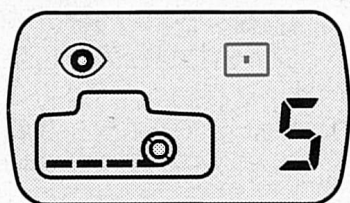
SPOT 中央部でピントを合わせて撮る

スポットマーク



写したいものが小さいときなど中央でピントと露出を合わせたいときに効果的です。

ダイヤルをSPOT マークに合わせると、ファインダー中央部にピントと露出が合うように設定され、表示パネルに□が表示されます。写したいものにファインダーのスポットAFフレームを合わせてください。



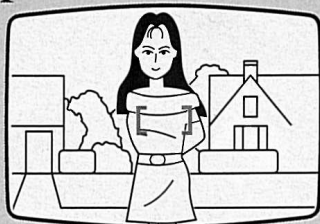
- 目マークが表示されているときはストロボ撮影時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。(→42ページ)



このような撮影にも便利

- スキー場などで雪景色をバックに撮るとき。
- 暗い室内の窓から見えた外の景色を撮るとき。

1



2



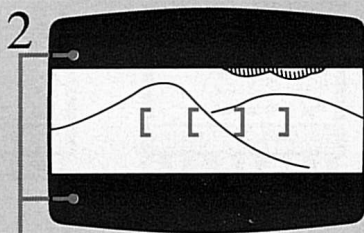
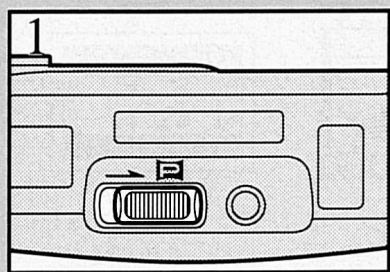
写したいものがAiAFフレームの外にあるときの撮影にお使いください。シャッターボタンを軽く押したままにすれば、ピントと露出は変わりませんので構図を変えて写真が撮れます。(フォーカスロック)

- 1 ピントを合わせるものを中央のスポットAFフレームに合わせ、軽くシャッターボタンを押します。合焦点が表示されてピント合わせが完了します。
- 2 シャッターボタンを軽く押したまま構図を決めた後さらにシャッターボタンを押し撮影します。



- ・ アクションマーク時はフォーカスロックできません。
- ・ 合焦後に撮影距離を変えたり、ズームをしたときは、ピントが変わりますのでやり直してください。

▶ パノラマモード撮影



パノラママスク

- 1 底面パノラマ／標準切替ノブをパノラマ側にスライドします。
- 2 ファインダーをのぞいて構図を決め、撮影します。



- 緑ランプが点滅（4回／秒）した場合は、写すものまでの距離が近すぎて実際の撮影範囲が下にずれる警告です。そのままでは写したいものの上部が撮れませんので、2m以上離れてください。
- 液晶の特性でパノラママスク上に細かい白点が見える事がありますが、これはカメラの性能及び撮影結果には一切影響ありません。
- 切替ノブを正しい位置までスライドさせないとパノラママスクが点滅しシャッターが切れません。

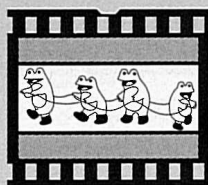


- パノラマモードでも、日付とメッセージを写し込めます。（→36ページ）
- ここでいうパノラマとは、カメラ側で標準撮影の1コマ分の上下を遮断して約13×36mmの画像を写し込み、プリント段階で約12×35mmの範囲をパノラマサイズ（89×254mm）に引き伸ばすものです。

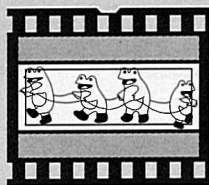
解除するとき

切替ノブを元の位置に戻します。
ファインダーのマスクが消えます。

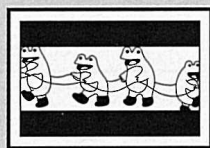
パノラマプリントについて



パノラマモード撮影をするとフィルム上では、上下にカットされた形で撮影されます。撮影枚数は変わりません。



パノラマプリントでは、フィルムに写っていてもプリントされない部分があります。



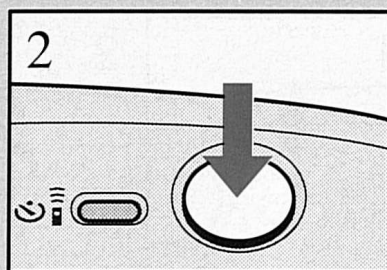
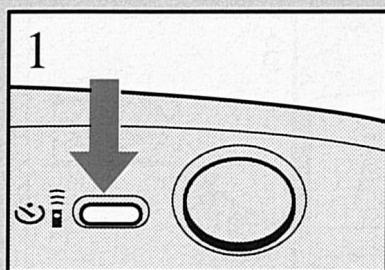
パノラマモード撮影したフィルムを通常のプリントにすると画面の上下に黒い帯が写し込まれます。

パノラマモード撮影したフィルムの現像・プリントは、通常処理と異なりますので、現像・プリント店に出す際には、必ず「パノラマ撮影したフィルム」であることをお伝えください。



- パノラマモードを使用した場合は通常の同時プリントに比べ料金、日数がかかります。
- 「パノラマ／標準混在」の現像／プリント依頼の際に同時に仕上がらない場合は、フィルムの現像のみを先に仕上げた後にプリントを依頼するなどの方法がありますので、お店にご相談ください。

📷 セルフタイマー撮影



セルフタイマーを使用すると撮影者自身も写真に入ることができます。

- 1 リモコン / 📷 セルフタイマーボタンを押し、表示パネルの 📷 を確認します。
- 2 カメラを写したいものに向けて構図を決め、シャッターボタンを押すとセルフタイマーが作動します。
 - セルフタイマーランプ / 赤目緩和ランプが点滅(1回/秒)をはじめ、約10秒後にシャッターが切れます。

セルフタイマーを途中でやめたいとき

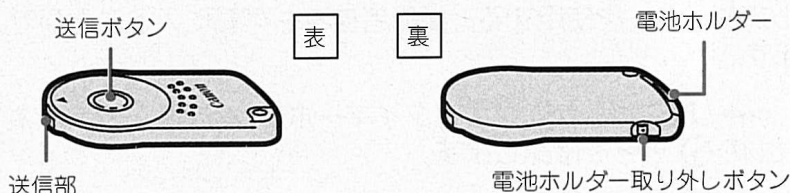
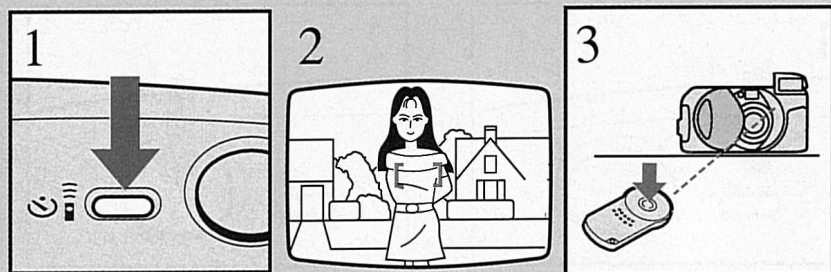
次のいずれかの操作を行なってください。

- セルフタイマーボタンを再び押す。
- ダイヤルを回し他のマークにする。
- レンズカバーを閉じ電源を切る。

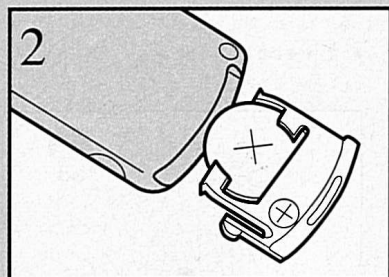
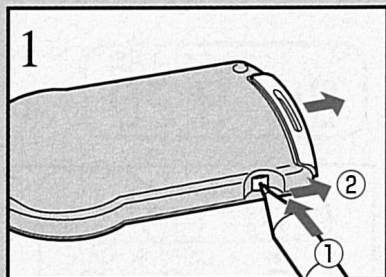


- シャッターが切れる約2秒前になるとランプの点滅がさらに速く(4回/秒)なります。ただし、赤目緩和機能が作動すると、シャッターが切れる約2秒前からランプが点灯します。
- セルフタイマー撮影は 📷 が表示されている約4分間有効です。
- カメラをしっかりとした台の上に置くか、三脚をご利用ください。
- カメラの直前に立ってセルフタイマーボタンを押さないでください。ピン트가ぼける原因となります。
- ポートレートでは、シャッターボタンを軽く押すとまず自動的にズーミングします。さらに押し続けてセルフタイマーが作動するのを確認してください。

リモコンの使い方



- 1 リモコンのセルフタイマーボタンを押し、表示パネルの を確認します。
 - 再度 ボタンを押すと が消え、リモコン撮影が解除されます。
- 2 写したいものにAFフレームを合わせ、シャッターボタンを軽く押します。
 - ファインダー横の緑ランプが点灯します。
 - シャッターボタンから指を離しても約4分間ピントが固定されますので、あらかじめピントを合わせ、構図を決めてからリモコン撮影することができます。セルフタイマーでも同様にピントを固定することができます。
- 3 送信部をカメラのリモコン受光部に向けて送信ボタンを押します。
 - カメラの正面から約5m離れて撮影できます。
 - カメラが受信すると赤目緩和ランプが点滅（赤目緩和の時は点灯）し、約2秒後にシャッターが切れます。



リモコンの電池交換

リモコン撮影でシャッターが切れなくなったら、新しい電池と交換してください。

使用電池：リチウム電池CR 2032 3V、1個を使用します。

- 1 ボールペンなどの先端で取り外しボタンを押しながらスライドさせます。
- 2 電池ホルダーに新しい電池を入れてホルダーをセットします。
 - +を正しく合わせて入れます。

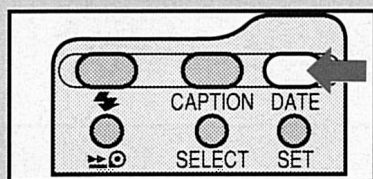


- リモコン受光部に太陽や蛍光灯の光が強くあたっていると、リモコン撮影できないことがあります。このようなときはセルフタイマーで撮影するか、カメラを移動してください。
- リモコン受信状態時に蛍光灯が近くにあると、蛍光灯の影響でカメラのリモコン機能が誤作動することがあります。この場合はカメラを蛍光灯から遠ざけて使用してください。



- リモコン撮影は  が表示されている約4分間有効で、続けて撮影することができます。
- カメラをしっかりと台の上におくか、三脚などをご利用ください。
- フォーカスロック撮影は、通常撮影と同様に行うことができます。

日付／時刻の写し込み



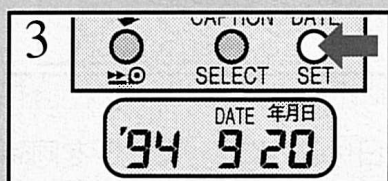
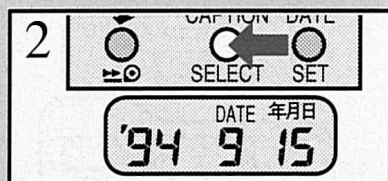
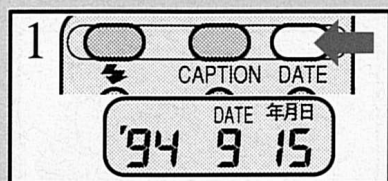
- 日付は図のように写し込まれます。

デート表示切り換えボタン(DATE)を押して、写真に写し込む日付／時刻の表示を選びます。デート表示切り換えボタンを押すたびに表示パネルは次のように変わります。

<年月日>表示	DATE 年月日 '94 9 20
<月日年>表示	DATE 9 20 '94
<日月年>表示	DATE 20 9 '94
<日時分>表示	DATE 20 16:45
(写し込みなし)	---

- DATEがパネル上に表示されているとき日付は常に写し込まれます。

日付／時刻のセット



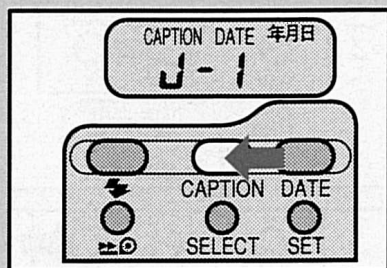
2029年までのオートカレンダーが組み込まれています。撮影のたびに日付をセットする必要はありませんが、海外旅行などで日付／時刻を修正するときや電池を交換したときは次のようにセットし直します。

- 1 デート表示切り換えボタン(DATE)を押して、表示パネルに修正する日付(時刻)を表示します。
- 2 修正位置選択ボタン(SELECT)を押して修正する数字を点滅させます。
- 3 数値セットボタン (SET) を押して正しい数字をセットします。
- 4 すべての数字が点灯するまで、修正位置選択ボタン (SELECT)を押します。すべての数字が点灯すれば、セットは完了です。

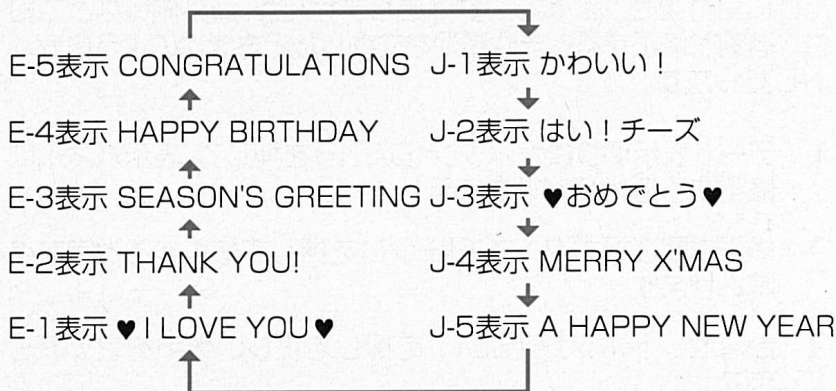


- 数値セットボタンは1回押すと1つ進み、押し続けていると連続早送りになります。
- 電池を交換すると表示パネルの日付が「'94 1 1」に変わります。日付と時刻を修正してください。
- ボタンを押すときはストラップ止め具の突起を利用すると便利です。

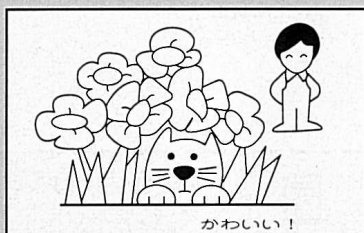
メッセージの写し込み

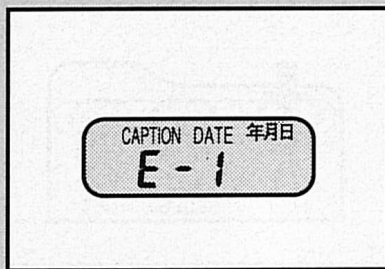
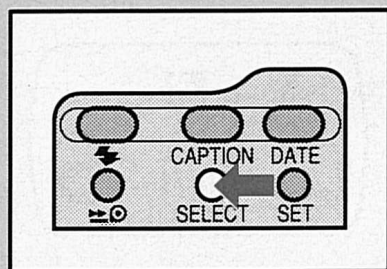


日付以外にメッセージを同時に写し込むことができます。メッセージ切り換えボタン(CAPTION)を押して、写し込むメッセージを選びます。メッセージ切り換えボタン(CAPTION)を押すたびに表示パネルは次のように変わります。



- メッセージの写し込みは1枚撮影するごとに日付／時刻の写し込みに戻ります。またパノラマ撮影でも写し込みが可能です。
- メッセージだけを写し込みたい場合は、DATEボタンを押して、表示パネルのDATE表示を消してください(デートOFF)。





修正位置選択(SELECT)ボタンを押すと各メッセージの表示を日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語の順番で変更することができます。

英語のメッセージ内容

- E-1 表示 ♥ I LOVE YOU ♥
- E-2 表示 THANK YOU!
- E-3 表示 SEASON'S GREETING
- E-4 表示 HAPPY BIRTHDAY
- E-5 表示 CONGRATULATIONS

ドイツ語のメッセージ内容

- D-1 表示 ICH LIEBE DICH ♥
- D-2 表示 DANKE SCHÖN!
- D-3 表示 EIN FROHES FEST
- D-4 表示 ALLES GUTE!
- D-5 表示 VIELE GRÜßE

フランス語のメッセージ内容

- F-1 表示 ♥ JE T'AIME ♥
- F-2 表示 MERCI!
- F-3 表示 MEILLEURS VOEUX
- F-4 表示 BON ANNIVERSAIRE
- F-5 表示 BRAVO!

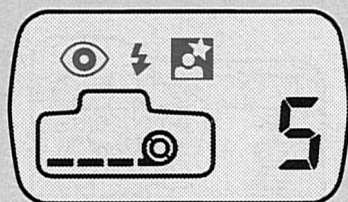
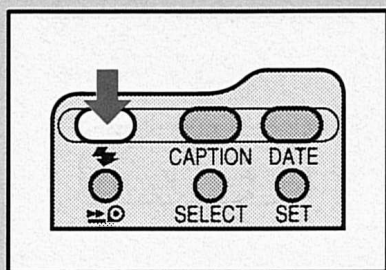
スペイン語のメッセージ内容

- ES-1 表示 ♥ TE ♥ AMO ♥
- ES-2 表示 MUCHAS GRACIAS!
- ES-3 表示 FELIZ NAVIDAD
- ES-4 表示 FELIZ CUMPLEAÑOS
- ES-5 表示 FELICIDADES



- DXマークのついたフィルムでも、それぞれ12枚、20枚、24枚、36枚撮りのフィルムをお使いください。それ以外の撮影枚数のフィルムでは、フィルムの最後の1枚分のデート、キャプションの写し込み撮影ができなくなることがあります。
- メッセージをOFFにするときはDATEボタンを押してください。

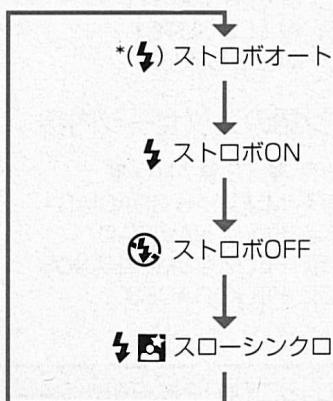
⚡ストロボと👁赤目緩和モードの変更



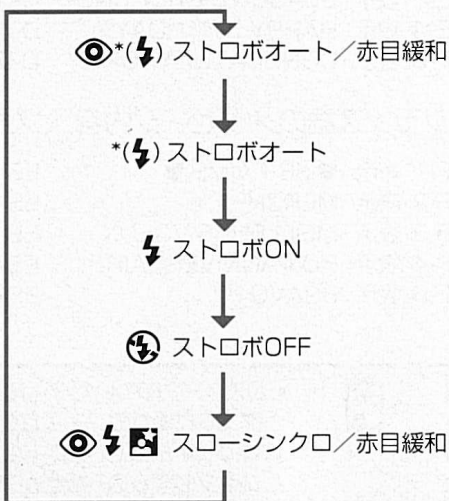
ストロボモードボタン(⚡)を押すと、次の順でストロボモードが切り換わり、ストロボを常に発光させたり、ストロボの発光を止めたりすることができます。

モードの変更は表示パネルで確認できます。ストロボモードは、ダイヤルを操作すると初めに設定されていたストロボモードに戻ります。

アクションマーク



その他のマーク



*ストロボオートでは、ストロボが発光する時に⚡が表示されます。

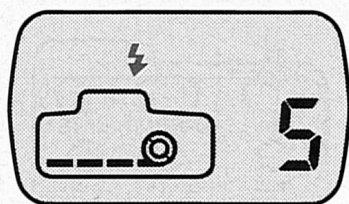
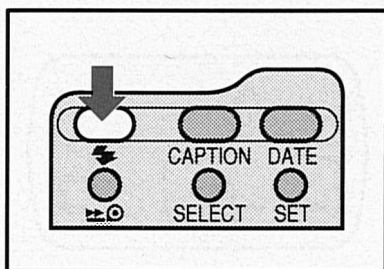


- 📷ポートレートモードで初めの設定(👁⚡)に戻すときは、ダイヤルをセットし直してください。

⚡ ストロボONモード



撮影場所の明るさに関係なくストロボが発光します。日中の逆光時や被写体の影をやわらげるときに使用します。

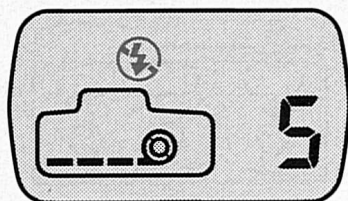
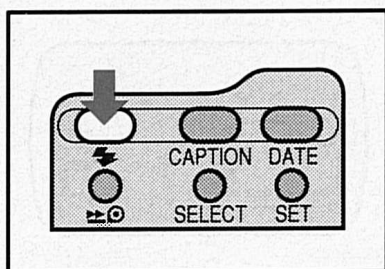


ストロボモードボタンを押し、表示パネルに⚡を表示します。

⚡ ストロボOFFモード



夜景の撮影、ストロボ使用が禁止されている場所での撮影、室内照明を利用したの撮影などに使用します。



ストロボモードボタンを押し、表示パネルに⚡を表示します。

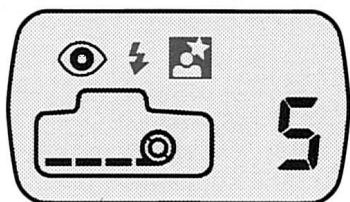
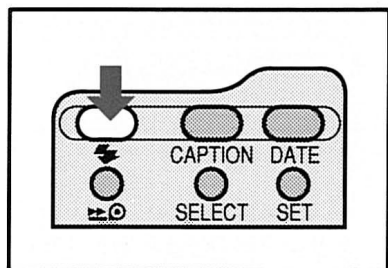


- 暗い場所でのストロボOFFによる撮影は、シャッタースピードが遅くなります。
- 手ぶれ警告で緑ランプが速く点滅(16回/秒)したときは、しっかりした台の上に置るか、三脚をご利用ください。

⚡/📷 スローシンクロモード



夕暮れや夜景などを背景にして人物撮影をするときに使用します。



ストロボモードボタンを押し、表示パネルに⚡と📷を表示します。



- シャッタースピードが遅くなりますので、カメラをしっかりした台の上に置るか、三脚をご利用ください。
- 👁 マークが表示されているときはストロボ撮影時に赤目緩和機能がはたらきます。自動的に赤目緩和ランプが点灯し、シャッターボタンを押してから約1秒後にシャッターが切れます。(→42ページ)



赤目緩和撮影機能について



暗い場所で人物をストロボ撮影すると、目が赤く輝いて写ることがあります。これを赤目現象といい、ストロボの光が目の網膜に反射して起こります。

赤目緩和モード  ではストロボ発光の前に赤目緩和ランプを約1秒間点灯させることで赤目現象の発生を緩和します。



- ・赤目緩和ランプが点灯すると緑ランプが速く点滅します。(16回/秒)
- ・赤目緩和ランプが点灯するとき、効果を高めるために約1秒間シャッターはきれません。すぐにシャッターをきりたいときはストロボモードボタンで赤目緩和機能をOFFにして撮影してください。
- ・赤目緩和ランプは、ダイヤルが  (アクション) マークではシャッターチャンスを逃さないために機能しません。

赤目緩和機能で撮影するときの注意

1. この機能は、写される人がランプを注視していないと効果がありませんので、写される人にランプを注視するように声をかけてください。
2. 写したい人から2m以内に近づいて撮影してください。
3. 赤目緩和効果の度合には個人差があります。
4. レンズを広角側にして撮影してください。
5. 室内はできるだけ明るくしてください。

- Q.1** リバーサルフィルムは使えますか？
- A.1** はい、使うことができます。ただし、DXマーク付きのフィルムISO 25、50、100、200、400、800、1600、3200のものを使用してください。
- Q.2** フィルム感度（ISO）とは何ですか？
- A.2** フィルムが光を感じる度合を数字で表したもので、その数字が大きくなるほど敏感に光を感じます。通常の撮影ではISO 400のフィルムをお勧めします。
- Q.3** DXマークのないフィルムは使えますか？
- A.3** はい、使うことができます。ただし、DXコードのついていないフィルムを入れた場合はISO 25にセットされます。フィルム感度ISO 25またはDXマークのついていないフィルムは、フィルム室に入れ背ぶたを閉じフィルムカウンターに“1”が表示されるまでシャッターボタンを押してください。
- Q.4** 写真に写し込まれた日付が読みにくいのですが？
- A.4** 写し込み位置の背景が明るいからです。暗いものがくるようにしてください。また、黄色系のものや白いものが写し込み位置にこないようにしてください。
- Q.5** リモコンの電池の寿命はどのくらいですか？
- A.5** 約6,000回送信することができます。
- Q.6** 撮りたいものに0.25mより近付くと近距離警告の緑ランプが点滅しなくなりますが、このとき撮影すると写真はどのようなのですか？
- A.6** ピントは合いません。写したいものから、0.6m以上（クローズアップ時0.45m以上）離れて撮影してください。

こんなときは

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度次の表でその部分を確認してください。次の表にしたがってチェックしても、症状に変化がなければ修理にお出してください。

症状	原因	解決方法	参考頁
1.  電池チェックマークが点滅する	電池が消耗している	電池を交換する	10 21
2.  電池チェックマークが表示されていないのに動かない	① 電池がはいついていない ② 電池が逆向きにはいつている ③ 電池が完全に消耗している	① 電池を入れる ② 電池を正しく入れ直す ③ 電池を交換する	21 21 21
3. シャッターが切れない	① レンズカバーが開いていない ② 電池が消耗している ③ フィルムが正しくセットされていない ④ 巻き戻されたフィルムがカメラに入っている ⑤ 赤目緩和機能が働いて赤目緩和ランプが点灯後にシャッターが切れる ⑥ パノラマスイッチが途中で止まっている	① レンズカバーを開いて電源を入れる ② 電池を交換する ③ フィルムを正しく入れ直す ④ フィルムを取り出して新しいフィルムをセットする ⑤ シャッターが切れるまで押し続ける ストロボモードを切り換える ⑥ マークの位置まで合わせる	10 21 16 21 17 38 29
4. 写真がボケて写っている	① シャッターを切るときに、AF受光／投光部をおおっていた ② セルフタイマー撮影などで、カメラの直前に立ってセルフタイマーボタンを押した ③ シャッターボタンを押すときにカメラが動いた(手ぶれ)	① 髪や指などでAF受光／投光部をおおわないように気をつける ② カメラの直前に立たないように気をつける ③ シャッターボタンを静かに押す	13 31 13

症状	原因	解決方法	参考頁
5. 表示パネルに「E」と表示される	リセット必要時の自己診断表示	レンズカバーを開閉する (点滅が消えないときは修理にお出しください)	10

主な仕様

形式:ズームレンズ内蔵35mmレンズシャッター式AF全自動カメラ
 画面サイズ:24×36mm(標準サイズ) 13×36mm(パノラマサイズ)
 レンズ:キヤノンレンズ 28-70mm F5.6-7.8
 焦点調整:Aiアクティブオートフォーカス(1点測距可能)
 撮影距離:0.6m~∞ (クローズアップ時 0.45m~∞)
 シャッター形式:絞り兼用プログラム式電磁駆動シャッター
 ファインダー:実像式ズームファインダー 倍率:広角 0.28倍 望遠 0.7倍
 ファインダー情報:ファインダー内:撮影範囲枠、近距離撮影範囲マスク、パノラママスク、スポットAFフレーム、AiAFフレーム、測距点表示、ベストショットインジケータ
 ファインダー接眼部:撮影OKランプ兼近距離警告/手ぶれ警告(緑色LED)
 フィルム装填:自動(自動空送り付き)
 フィルム巻き上げ:自動、一枚撮影、連続撮影可能
 フィルム巻き戻し:自動、終了後自動停止、途中巻き戻し可能
 フィルムカウンター:順算式、フィルムの移動に連動 フィルム空送り不良表示あり
 フィルム在否確認:背蓋フィルム確認窓あり
 セルフタイマー:電子制御式、シャッターボタンにより作動、約10秒後リリース、ボディ正面セルフタイマーランプ/赤目緩和ランプ点滅表示、フィルムカウンターに残り秒時カウントダウン
 リモートコントロール機能:赤外光を利用した専用リモコンシステム
 送信ボタンにて作動、2秒後リリース
 作動距離範囲:約5m以内 電池寿命 約6000回
 測光作動範囲(ISO 100):
 全自動モード/ストロボ発光モード:
 広角:1/30 F5.6~1/590F16(EV10~17.5)
 望遠:1/60 F7.8~1/590F32(EV12~20)
 ストロボOFFモード/スローシンクロ:
 広角:2秒F5.6~1/590F16(EV4~17.5)
 望遠:2秒F7.8~1/590F32(EV5~20)
 露出補正:ストロボOFFモードで逆光のとき、+1.5段の自動露出補正
 フィルム感度:ISO 25~3200、DXコードにより1段ごとに自動セット

マーク	AF				測光方式	
	AiAF	1点AF	ワンショット	サーボ	3分割	スポット
AUTO 全自動	●		●		●	
 アクション		●		●	●	
 夜景	●		●		●	
 クローズアップ		●	●		●	
 ポートレート		●	●		●	
SPOT スポット		●	●			●

内蔵ストロボ: 低輝度、逆光時自動発光式内蔵型リトラクタブルストロボ
ストロボ連動範囲: 広角: 0.6(0.45)~3.3m 望遠: 0.6(0.45)~2.4m (カラープリント用フィルムISO 100使用時)

広角: 0.6(0.45)~6.6m 望遠: 0.6(0.45)~4.7m (カラープリント用フィルムISO 400使用時)

ストロボ充電時間: 約4秒

ストロボ切り換え: ベストショットダイヤル及びストロボモード切り換えボタンによる

①ストロボオートモード: 低輝度、逆光時自動発光

②ストロボONモード: 常時発光

③ストロボOFFモード: 発光禁止

④スローシンクロモード: 常時発光

写し込み機能: 方式: 液晶表示式 クォーツデジタル時計内蔵

オートカレンダー(西暦2029年まで、うるう年自動修正)時計機構: 常温20℃下で月差±120秒以下

写し込みデータ: デート(4通り)、メッセージ(25通り)

文字形状: 6×7のドットマトリックスによる

写し込みの色: オレンジ色

電源: リチウム電池 CR123A 又はDL123A 3V 1個

パノラマモード撮影: パノラマ標準サイズ切り換えノブにより随時撮影可能

撮影可能本数: 24枚撮りフィルム 約13本

大きさ: 123(幅)×64(高さ)×43.8(奥行)mm

質量: 260 g (カメラ用電池別)

- ここに記載のデータはすべて当社試験基準によります。
- 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

逆光検知	逆光時の露出補正	倍率一定	至近距離	給送モード		モード初期状態	
				一枚	連続	ストロボ	赤目緩和
●	●		0.6 m	●		AUTO	●
●	●		0.6 m		●		
●	●		0.6 m	●		スローシンクロ	●
●	●		0.45 m	●		AUTO	
●	●	●	0.6 m	●		ON	●
			0.6 m	●		AUTO	●

アフターサービスについて

1. 保障期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために不可欠な部品）は、日本国内において、7年間を目安に保有しています。したがって期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判定につきましてはお買い上げ店または、裏表紙記載の当社サービス機関にお問い合わせください。
3. 修理品をご送付の場合は、見本のフィルムを添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社 カメラ販売事業部

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

カメラ相談センター（製品取り扱い方法ご相談窓口）

〒108-8011 東京都港区三田3-12-15（東急三田ビル8F）

☎(03) 3455-9353

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

〒060-8522 札幌市北区北七条西1-1-2（SE山京ビル1F）

☎(011) 728-0665

〒980-8560 仙台市青葉区国分町3-6-1（仙台パークビル1F）

☎(022) 217-3210

〒950-0914 新潟市紫竹山1-10-26

☎(025) 246-8765

〒331-0852 大宮市桜木町4-247（OSビル1F）

☎(048) 649-1450

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1（朝日生命千葉登戸ビル1F）

☎(043) 248-6108

〒104-0061 東京都中央区銀座5-9-9

☎(03) 3573-7834

〒163-0290 東京都新宿区西新宿2-6-1（住友三角ビル地下1F）

☎(03) 3348-4725

〒220-0004 横浜市西区北幸2-6-26（HI横浜ビル2F）

☎(045) 312-0211

〒420-0034 静岡市常磐町2-6-8（トーカイビル3F）

☎(054) 253-9010

〒461-8511 名古屋市中区東桜2-2-1（高岳パークビル1F）

☎(052) 939-1830

〒920-0853 金沢市本町1-5-2（リファール1F）

☎(076) 233-6608

〒604-0847 京都市中京区烏丸二条下ル秋野々町513（京都第一生命泉屋ビル2F）

☎(075) 255-5953

〒530-0015 大阪市北区中崎西2-4-12（梅田センタービル別館1F）

☎(06) 6373-8181

〒700-0907 岡山市下石井2-2-5（ニッセイ岡山スクエア13F）

☎(086) 221-8678

〒730-0051 広島市中区大手町3-7-5（広島パークビル1F）

☎(082) 240-6712

〒760-0027 高松市紺屋町4-10（鹿島紺屋ビル1F）

☎(087) 823-4681

〒812-0017 福岡市博多区美野島1-2-1（キヤノン販売福岡ビル1F）

☎(092) 411-4173

〒900-0032 那覇市松山1-1-19（安田生命那覇ビル8F）

☎(098) 866-7933

カメラ技術センター（修理サービスご相談窓口）

〒213-0032 川崎市高津区久地487-1

☎(044) 811-1670

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央2-5-3

☎(06) 6941-1076

営業所

〒870-0045 大分市城崎町1-3-31（富士火 大分ビル）

☎(097) 537-4117

休業のご案内

新 宿（日曜日、祝日、第3木曜日） その他（土・日曜日、祝日）

営業時間のご案内

新 宿：10:00～18:00 梅 田：9:30～18:00 その他：9:00～17:30